



JAPAN ACCOUNTING ASSOCIATION

日本会計研究学会第77回大会 研究報告要旨集

2018(平成30)年 9月3日(月)～6日(木)

大会
テーマ

21世紀における会計理論の再構築

KU 神奈川大学



JAPAN ACCOUNTING ASSOCIATION

日本会計研究学会第77回大会 研究報告要旨集

2018(平成30)年 9月3日(月)～6日(木)



21世紀における会計理論の再構築

KU 神奈川大学

日本会計研究学会第77回大会 開催にあたって

第77回大会準備委員会
委員長 岡村 勝義

会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、日本会計研究学会第77回大会を神奈川大学において開催いたします。全国大会を本学で引き受けることは大変な名誉であることと肝に銘じ、会員の皆様にご満足いただけるような運営を目指す所存であります。

本大会では、統一論題のテーマを「21世紀における会計理論の再構築」としております。この統一論題のテーマを決定する際に我々が行ったのは、会計をめぐる環境についての虚心坦懐な再認識でした。そこには、残念ながら明るいものばかりは見出せませんでした。足元では、会計(学、ゼミ)の不人気、会計関連試験の受験者減、AIの進化に伴う会計(公認会計士・税理士等)の不要論などがあり、さらに会計研究においても、研究手法の画一化・単線化の傾向が世界的にも強まっていることが指摘されています。こういった会計の危機は、20世紀後半にはすでに指摘されていたものの、21世紀に入ってからより顕在化してきたと思われます。しかし、このような状況を環境の変化であり仕方がないことと、会計研究の側から達観しているわけにはいきません。そもそもこのような危機は、21世紀の環境に適合した、新たなそして骨太な会計理論があきらかではないことが招いた結果とも考えられます。一気に画期的な新理論を形成することはできません。それでも、諦めることなく、まさに今こそ、漸次的に次代に適合した会計理論を構築すべきではないでしょうか。

このような問題意識から、本大会の統一論題テーマを「21世紀における会計理論の再構築」といたしました。そして、「日本からの情報発信を目指して」、「歴史的パースペクティブの復権」、「AI時代における会計」、および「日本における中小企業会計」という4つのテーマを設定しました。従来の財務会計、管理会計、監査等の学問分野による会場分けではなく、皆様の興味・関心に応じて会場を選んでいただきたいと思います。どのテーマもおもしろそうで、会場選択に迷ってしまう」といったようなお声を頂戴できるよう願っております。

そのほかに、特別講演では、井尻雄士記念会計基礎研究国際講演として、本学会会長を務められた斎藤静樹先生に「会計研究の再構築」という論題でご講演いただきます。また、ASBJセッションは、最新の会計問題を共有する場となることを期待し

ています。さらに、韓国会計学会ならびに台湾会計学会との交流にもとづき、英語での報告となる国際セッションを例年と同様に企画しています。また、英語による自由論題報告会場も設けています。

本大会が、ご参加いただいたすべての方々にとって実り多きものとなることを心より願っております。

最後に、本大会開催にあたりまして、貴重なご示唆・ご助言をいただきました大日方隆先生、齋藤真哉先生、前山政之先生、および長谷川恵一先生に深く感謝致します。また、多大なご支援とご協力を賜りました関係各位に厚く御礼申し上げます。

目 次

大会全体スケジュール	2
理事会・評議員会等スケジュール	5
大会詳細スケジュール	
大会第1日目 9月4日(火)	6
大会第2日目 9月5日(水)	7
大会第3日目 9月6日(木)	15
特別委員会報告	21
スタディ・グループ報告	27
特別講演(井尻雄士記念会計基礎研究国際講演)	33
国際セッション	37
自由論題報告Ⅰ	45
自由論題報告Ⅱ	93
統一論題報告	139
ASBJ セッション	171
会場案内図	173

大会全体スケジュール

第1日目 9月4日(火)

会場：パシフィコ横浜 アネックスホール

11:00～17:00	参加者受付	(アネックスホール フォワイエ)
18:00～19:00	参加者受付(懇親会受付のみ)	(ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル 3階 ボールルーム前)
12:00	新入会員発表	(アネックスホール フォワイエ)
12:30～16:30	会長および評議員選挙 学会賞、太田・黒澤賞審査委員選挙	(アネックスホール F205)
13:00～14:30	会員総会	(アネックスホール F201-204)
14:50～15:30	特別委員会報告 三矢 裕 委員長	(アネックスホール F201-204)
15:40～16:20	特別委員会報告 齋藤 真哉 委員長	(アネックスホール F201-204)
16:40～17:50	特別講演(井尻雄士記念会計基礎研究国際講演)	(アネックスホール F201-204)
	斎藤 静樹(東京大学名誉教授)	
18:30～20:30	懇親会	(ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル 3階 ボールルーム前)

※司会者・報告者等の氏名は敬称を略しております。

第2日目 9月5日(水)

会場：神奈川大学 横浜キャンパス

9:00～16:00	参加者受付	(3号館 1階入口)
9:00～15:30	会員控え室	(3号館 地下1階 3-B101)
9:00～13:00	会長および評議員選挙 学会賞、太田・黒澤賞審査委員選挙	(3号館 地下1階 3-B102)
9:30～14:05	国際セッション	(3号館 2階 3-205)
9:30～11:50	自由論題報告Ⅰ(院生セッションを含む)	(3号館・7号館)
【昼食】		(3号館 地下1階 3-B101・3-B103)
13:00～13:40	スタディ・グループ報告 佐々木 隆志 主査	(10号館 4階 10-41)
13:45～14:25	スタディ・グループ報告 水野 一郎 主査	(10号館 4階 10-41)
14:45～16:55	統一論題報告 第1会場 「日本からの情報発信を目指して」 第2会場 「歴史的パースペクティブの復権」 第3会場 「AI時代における会計」 第4会場 「日本における中小企業会計」	(10号館 4階 10-41) (10号館 4階 10-42) (3号館 地下1階 3-B103) (3号館 地下1階 3-B104)

第3日目 9月6日(木)

会場：神奈川大学 横浜キャンパス

9:00～16:00	参加者受付	(3号館 1階入口)
------------	-------	------------

9:00～15:30	会員控え室	(3号館 地下1階 3-B101)
------------	-------	-------------------

9:30～11:50	自由論題報告Ⅱ(院生セッションを含む)	(3号館)
------------	---------------------	-------

【昼 食】		(3号館 地下1階 3-B101・3-B102)
-------	--	--------------------------

13:00～14:45	統一論題討論	
	第1会場 「日本からの情報発信を目指して」	(3号館 地下1階 3-B104)
	第2会場 「歴史的パースペクティブの復権」	(3号館 地下1階 3-B103)
	第3会場 「AI時代における会計」	(3号館 3階 3-305)
	第4会場 「日本における中小企業会計」	(3号館 4階 3-405)

15:00～16:30	ASBJセッション	(3号館 地下1階 3-B104)
-------------	-----------	-------------------

理事会・評議員会スケジュール

9月3日(月)

会場：神奈川大学 横浜キャンパス

10:00～12:00	会長・評議員選挙管理委員会	(1号館 5階 1-501・1-502)
12:00～13:00	入会資格審査委員会	(1号館 7階 1-714)
12:00～15:00	学会賞および太田・黒澤賞審査委員会	(1号館 8階 1-804)
15:00～17:30	理 事 会	(1号館 8階 1-804)

9月4日(火)

会場：パシフィコ横浜 アネックスホール

9:30～10:30	評議員受付	(アネックスホール フォワイエ)
10:00～12:30	評議員会	(アネックスホール F205)
	評議員会昼食会場	(アネックスホール F206)

9月6日(木)

会場：神奈川大学 横浜キャンパス

12:00～12:50	新評議員会・理事選挙	(1号館 3階 1-308)
16:40～18:10	新旧合同理事会・新理事会	(1号館 8階 1-804)

大会詳細スケジュール

第1日目 9月4日(火)

会場：パシフィコ横浜 アネックスホール

参加者受付 11:00～17:00 (アネックスホール フォワイエ)

参加者受付(懇親会受付のみ) 18:00～19:00
(ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル3階ボールルーム前)

新入会員発表 12:00 (アネックスホール フォワイエ)

会員総会 13:00～14:30 (アネックスホール F201-204)

特別委員会報告 14:50～16:20 (アネックスホール F201-204)

特別委員会報告1 14:50～15:30

特別委員会報告2 15:40～16:20 (報告時間 各30分 質疑応答 各10分)

特別委員会報告1
司会者：吉田 栄介(慶應義塾大学)
委員長：三矢 裕(神戸大学)

「知の活用・探索と管理会計に関する研究」(中間報告)

特別委員会報告2
司会者：吉見 宏(北海道大学)
委員長：齋藤 真哉(横浜国立大学)

「企業会計制度設計に関する総合的研究」(最終報告)

特別講演 16:40～17:50 (アネックスホール F201-204)

特別講演(井尻雄二記念会計基礎研究国際講演)

挨拶

桜井 久勝(日本会計研究学会会長)

「会計研究の再構築 ―実証なき理論と理論なき実証を超えて―」

斎藤 静樹(東京大学名誉教授)

懇親会 18:30～20:30

(ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル 3階ボールルーム)

第2日目 9月5日(水)

会場：神奈川大学 横浜キャンパス

参加者受付 9:00～16:00

(3号館 1階入口)

会員控え室 9:00～15:30

(3号館 地下1階 3-B101)

国際セッション

(3号館 2階 3-205)

報告(1) 9:30～10:00

報告(2) 10:05～10:35

(休憩 10分)

報告(3) 10:45～11:15

報告(4) 11:20～11:50

(休憩 60分)

報告(5) 13:00～13:30

報告(6) 13:35～14:05

(報告時間 各20分 質疑応答 各10分)

司会者：野口 晃弘(名古屋大学)

(1) Off-Auction Repurchase Announcement Timing

河瀬 宏則(九州産業大学)

討論者：Hsiao-Lun Lin(国立台北大学 National Taipei University)

(2) Foreign Investors and Implied Cost of Equity Capital: Evidence from Korean Stock Market

Chang Seop Rhee(Sejong University)

Hong-min Chun(Chungbuk National University)

討論者：藤山 敬史(神戸大学)

司会者：小津 稚加子(九州大学)

(3) The Impact of Business Strategy, Managerial Incentives, and Tenure on Firm CSR Engagement

Chih-Wei Peng(国立彰化師範大学 National Changhua University of Education)

討論者：北田 皓嗣(法政大学)

(4) Asymmetric Cost Behavior of Mutual Savings Banks: Evidence from Korea

Byung-Gi Kim(Ph. D. in Business Administration Financial Supervisory Service)

Wan Suk Ko(Hankuk University of Foreign Studies)

Yong-Sik Hong(Hansung University)

討論者：安酸 建二(近畿大学)

司会者：荒田 映子(武蔵大学)

(5) Survey Research on Earnings Quality: Evidence from Japan

中島 真澄(金沢学院大学)

討論者：Hong-min Chun(Chungbuk National University)

(6) The Effect of Institutional Ownership on Innovation : New Evidence

Chunlai Ye (Texas A & M International University)

Lin-Hui Yu (国立台湾大学 National Taiwan University)

討論者：與三野 禎倫 (神戸大学)

自由論題報告 I

第1会場～第13会場

報告(1) 9:30～10:00

報告(2) 10:05～10:35

(休憩 10分)

報告(3) 10:45～11:15

報告(4) 11:20～11:50

(報告時間 各20分 質疑応答 各10分)

第1会場 (3号館 2階 3-206)

司会者：古庄 修 (日本大学)

(1) 非営利法人への統合報告書の導入可能性に関する考察 — 名古屋市の社会福祉法人を事例として —

平田 沙織 (長岡大学)

(2) 統合報告における人的資本と知的資本の関係性に関する考察

富田 亜紀 (東洋大学)

司会者：中野 貴之 (法政大学)

(3) CSR ディスクロージャーにおける裁量が投資者行動に及ぼす影響

野田 昭宏 (滋賀大学)

(4) ESG 情報の価値関連性と統合報告書の「統合度」

譚 鵬 (中部大学)

榊原 茂樹 (神戸大学名誉教授)

第2会場 (3号館 3階 3-306)

司会者：小野 武美 (東京経済大学)

(1) 段階取得における測定の見直し

山下 奨 (跡見学園女子大学)

(2) 持分法とのれん会計

池田 幸典 (愛知大学)

司会者：田中 建二 (明治大学)

(3) 正統性概念と混合測定会計の論理

高坂 紀広 (富士大学)

(4) 操作性のある会計利益概念構築を目指して

福井 義高 (青山学院大学)

斎藤 静樹 (東京大学名誉教授)

第3会場 (3号館 3階 3-307)

司会者：加井 久雄 (新潟大学)

(2) 経営者予想の精度とアナリスト予想のタイミング

小谷 学 (熊本学園大学)

司会者：西谷 順平 (立命館大学)

(3) 並行輸入企業があるときの国際移転価格の設定基準選択

濱村 純平 (桃山学院大学)

(4) 組織成員の楽観性が業績評価システムに与える影響 — 数理モデル分析による検討 —

木村 太一 (慶應義塾大学)

第4会場 (3号館 4階 3-405)

司会者：海老原 崇 (武蔵大学)

(1) Disclosure of Investment Information in Vertically Related Industries

呉 重和 (摂南大学)

李 東俊 (名古屋商科大学)

(2) 経営者能力と財務的意思決定 — 投資政策・株主還元政策・現金保有 —

河内山 拓磨 (一橋大学)

石田 惣平 (埼玉大学)

司会者：太田 浩司 (関西大学)

(3) The Impact of Shifting from a Bank Towards an Equity Financing System on Accounting Practice : The Case of Income Smoothing in Japan over 40 Years

藤山 敬史 (神戸大学)

Gray Sidney (University of Sydney)

古賀 裕也 (東北学院大学)

(4) 当期純利益, その他の包括利益の相対・増分情報内容の分析

竹原 均 (早稲田大学)

第5会場 (3号館 4階 3-406)

司会者：関口 博正 (神奈川大学)

(2) 中小企業の会計基準に関する一考察

— 「中小企業の会計に関する指針」を手がかりに —

安藤 鋭也 (三井物産株式会社)

司会者：倉田 幸路 (立教大学名誉教授)

(3) 会計基準設定における適用後レビュー

辻川 尚起 (兵庫県立大学)

(4) 財務・非財務情報の比較可能性を巡る考察 — 統一性と弾力性の議論を超えて —

越智 信仁 (尚美学園大学)

第6会場 (3号館 4階 3-408)

司会者：異島 須賀子(久留米大学)

(1) 働き方と規範 ―日本の大手監査法人を例に―

松原 沙織(東海大学)

(2) 監査判断と法的思考 ―監査判断における議論図式―

松尾 慎太郎(東北公益文科大学)

司会者：町田 祥弘(青山学院大学)

(3) The Effect of Material Weaknesses in Internal Control and Their Remediation on Accruals Quality : Evidence from Japan

滝西 敦子(国立台湾大学)

(4) 監査に従事する個人が監査品質に与える影響についての予備的調査

亀岡 恵理子(文教大学)

第7会場 (7号館 3階 7-31)

司会者：工藤 栄一郎(西南学院大学)

(1) エージェントの業績評価とプリンシパルに対するエグゼクティブ教育

若林 利明(上智大学)

(2) わが国の簿記教材に関する傾向分析

河合 由佳理(駒澤大学)

齋藤 雅子(大阪産業大学)

司会者：梶田 龍三(専修大学)

(3) 会計基準設定主体の正統性を再考する ―制度派組織論の視点から―

真田 正次(就実大学)

(4) 金融危機後の IASB の変化 ―2つの正統性の視点から―

森 洵太(愛知淑徳大学)

第8会場 (7号館 3階 7-32)

司会者：挽 文子(一橋大学)

(1) 経営実践の変化と革新を志向する管理会計のメカニズムを研究するための新しい会計サイバネティック・モデルの構築について

鈴木 新(就実大学)

(2) 会計実践における目的志向性と感情性の関係 ―実践理論に基づく金融機関による企業再生活動の事例研究―

吉川 晃史(熊本学園大学)

澤邊 紀生(京都大学)

司会者：中村 博之(横浜国立大学)

(3) 農作物の品質を高めるためのマネジメント・コントロール・システム
— 農福連携をベースとした農業法人の事例研究 —

小杉 雅俊(弘前大学)

加藤 恵吉(弘前大学)

(4) 災害対応リスクマネジメントと定常対応マネジメント・コントロールの相互作用

木村 眞実(東京都市大学)

吉川 晃史(熊本学園大学)

工藤 栄一郎(西南学院大学)

望月 信幸(熊本県立大学)

第9会場(7号館 3階 7-33)

司会者：浜田 和樹(関西学院大学)

(2) 中小企業のバックヤード業務を劇的に改善するため、
消費税法の適格請求書等に QR 情報を付加すること

岸田 賢次(名古屋学院大学名誉教授)

司会者：諸藤 裕美(立教大学)

(3) 中小企業における管理会計と財務業績の関係
— 管理会計システムの整備度と管理会計を活用する能力のギャップが与える
影響の考察 —

市原 勇一(京都大学)

福島 一矩(中央大学)

尻無濱 芳崇(山形大学)

黒木 淳(横浜市立大学)

(4) 多次元空間における余弦値を用いた経営分析

小沢 浩(名古屋大学)

第10会場(7号館 3階 7-34)

司会者：藤井 秀樹(京都大学)

(1) 大学分類別から見た学校法人会計数値の傾向についての考察

林 兵磨(大阪産業大学)

(2) 同族経営と会計ディスクロージャー — 私立大学を対象とした実証分析 —

黒木 淳(横浜市立大学)

司会者：松尾 貴巳(神戸大学)

(3) 地方公営企業会計における長期前受金の検討 — 下水道事業の財務分析を中心に —

石田 晴美(文教大学)

(4) 福祉サービス開発における住民の巻き込みとコントロール
—交通課題解決プロジェクトの事例—

井上 慶太(成蹊大学)
尻無濱 芳崇(山形大学)
藤野 雅史(日本大学)

第11会場(院生セッション) (7号館 4階 7-41)

司会者：大塚 成男(千葉大学)

(2) 売却時価会計の理論構造 —スターリング学説の検討—

井奈波 晃(中央大学大学院)

(4) 米国における結合会計 —企業会計と公会計の比較—

栗城 綾子(早稲田大学大学院)

第12会場(院生セッション) (7号館 4階 7-42)

司会者：坂上 学(法政大学)

(1) 環境の不確実性が、企業の利益目標設定における
ラチェッティングに対して与える影響

早川 翔(神戸大学大学院)

(2) 工事進行基準の適用と経営者による売上高平準化の関係
—日本の上場情報サービス業の分析—

三原 武俊(一橋大学大学院)

司会者：奥村 雅史(早稲田大学)

(3) 会計情報の比較可能性についての長期的分析

五十川 陽(中央大学大学院)

(4) 経営者能力と業績予想の開示戦略

張 姣(近畿大学大学院)

第13会場(院生セッション) (7号館 4階 7-43)

司会者：草野 真樹(京都大学)

(1) 不正会計開示によって引き起こされる経済的帰結の実証分析

尾関 規正(神戸大学大学院)

(2) 財務数値の知見を用いた予測精度の向上

吉田 政之(神戸大学大学院)
小笠原 亨(熊本学園大学)

司会者：山本 達司(同志社大学)

(3) 地方公共団体における公会計財務諸表と地方債市場との関連性の発現過程

原口 健太郎(九州大学大学院)

(4) 自治体予算要求時における発生主義会計情報の有用性に関する質問紙実験

生方 裕一(筑波大学大学院)

黒木 淳(横浜市立大学)

岡田 幸彦(筑波大学)

スタディ・グループ報告 13:00～14:25

(10号館 4階 10-41)

スタディ・グループ報告1 13:00～13:40

スタディ・グループ報告2 13:45～14:25

(報告時間 各30分 質疑応答 各10分)

スタディ・グループ報告1

司会者：泉 宏之(横浜国立大学)

主 査：佐々木 隆志(一橋大学)

「顧客との契約から生ずる収益の認識に関する会計諸問題の研究」(中間報告)

スタディ・グループ報告2

司会者：徳賀 芳弘(京都大学)

主 査：水野 一郎(関西大学)

「現代中国会計の多面的・総合的研究

—歴史的・比較制度的分析を踏まえつつ—」(最終報告)

統一論題報告 14:45～16:55

統一論題テーマ

『21世紀における会計理論の再構築』

座長解題

第1報告

第2報告

第3報告

第1会場 (10号館 4階 10-41)

「日本からの情報発信を目指して」

座長：大日方 隆(東京大学)

「会計学の独創性 —貢献と役割—」

報告：澤邊 紀生(京都大学)

「独創的な会計研究のための観察と観測」

八重倉 孝(早稲田大学)

「内的妥当性の追求」

鈴木 一水(神戸大学)

「日本固有の規制環境に着目した会計研究」

第2会場 (10号館 4階 10-42)

「歴史的パースペクティブの復権」

座長：齋藤 真哉 (横浜国立大学)

「解題：歴史的パースペクティブの重要性の再確認」

報告：杉本 徳栄 (関西学院大学)

「会計制度設計における政治ファクターとその影響」

高橋 賢 (横浜国立大学)

「わが国における直接原価計算の展開」

松本 祥尚 (関西大学)

「わが国職業会計士監査制度の展開と課題」

第3会場 (3号館 地下1階 3-B103)

「AI時代における会計」

座長：松本 敏史 (早稲田大学)

「解題：AI時代における会計について」

報告：矢口 龍一 (新日本監査法人)

「会計における AI (IT) の現状」

首藤 昭信 (東京大学)

「AI が会計学研究に与える影響」

村上 敏也 (金沢工業大学)

「データサイエンス型の会計教育と AI」

第4会場 (3号館 地下1階 3-B104)

「日本における中小企業会計」

座長：佐藤 信彦 (熊本学園大学)

「日本における中小企業会計：解題と若干の報告」

報告：清水 泰洋 (神戸大学)

津村 怜花 (尾道市立大学)

「日本における中小企業会計研究史」

ガルシア クレマン (学習院大学)

「中小企業会計情報と経済統計 ―フランスにおける現状と課題―」

望月 信幸 (熊本県立大学)

「中小企業会計情報と企業経営」

コメンテーター：

大森 明 (横浜国立大学)

坂口 順也 (名古屋大学)

参加者受付 9:00～16:00

(3号館 1階入口)

会員控え室 9:00～15:30

(3号館 地下1階 3-B101)

自由論題報告Ⅱ

第1会場～第12会場

報告(1) 9:30～10:00

報告(2) 10:05～10:35

(休憩 10分)

報告(3) 10:45～11:15

報告(4) 11:20～11:50

(報告時間 各20分 質疑応答 各10分)

第1会場(3号館 地下1階 3-B102)

司会者：円谷 昭一(一橋大学)

(1) 迂回的増資手段としての転換社債の発行に関する実証研究

塚原 慎(帝京大学)

(2) 発行社債の時価情報と将来業績

増村 紀子(兵庫県立大学)

司会者：大鹿 智基(早稲田大学)

(3) 損害保険会社の支払備金積立の決定要因と課税状態の影響

高橋 隆幸(横浜市立大学)

野間 幹晴(一橋大学)

植原 真莉(パナソニック株式会社)

(4) 日本版不動産投資信託における配当ベースの利益マネジメント

木村 史彦(東北大学)

第2会場(3号館 地下1階 3-B103)

司会者：浅野 敬志(首都大学東京)

(2) 公正開示をめぐる取り組みが企業の情報開示行動やその効果に与える影響

加賀谷 哲之(一橋大学)

司会者：音川 和久(神戸大学)

(3) 数理計算上の差異のリサイクリングに関する実証研究

藤田 直樹(関西学院大学)

(4) 確定拠出年金の導入が投資行動・株主還元に与える影響

野間 幹晴(一橋大学)

第3会場 (3号館 2階 3-205)

司会者：菱山 淳(専修大学)

(1) IAS 第38号により資産計上される開発費の資産性

奥原 貴士(四日市大学)

(2) 使用権モデルにおける資産認識の意義と問題点

山崎 尚(獨協大学)

司会者：米山 正樹(東京大学)

(3) 担保の会計処理に関する実務的問題点

金子 康則(公認会計士金子康則事務所)

(4) 新収益認識会計基準適用による効果と課題

佐藤 郁裕(ヤマハモーターソリューション株式会社)

第4会場 (3号館 2階 3-206)

司会者：浦崎 直浩(近畿大学)

(1) 財務困窮企業の繰延税金資産を通じた調整行動が銀行から受ける影響

積 惟美(亜細亜大学)

(2) 銀行の融資における公正価値情報の有用性の比較制度分析

宮本 幸平(神戸学院大学)

司会者：成川 正晃(東北工業大学)

(3) ICO(仮想通貨を用いた資金調達)の会計処理について

酒巻 雅純(東京証券取引所)

(4) 社会における会計制度の利用と国際標準化

— 経済的実体と会計数値の固有性(中国に着目して) —

猪熊 浩子(東北大学)

第5会場(院生セッション) (3号館 2階 3-207)

司会者：大沼 宏(東京理科大学)

(1) コーポレート・ガバナンスが税負担削減行動に及ぼす影響

岩崎 瑛美(神戸大学大学院)

(2) 税務上の欠損金の繰越・繰戻選択と将来業績の関係性

成川 旦人(横浜市立大学大学院)

司会者：中條 祐介(横浜市立大学)

(3) IFRS とコンバージェンスした会計情報の価値関連性が高まるか

— A 株と B 株を同時に上場する中国企業からの証拠 —

閔 肅(早稲田大学大学院)

(4) メインバンクとの関係が GC 情報開示企業の会計行動に及ぼす影響

日下 勇歩(一橋大学大学院)

第6会場 (3号館 3階 3-305)

司会者：潮崎 智美(九州大学)

(1) IFRS 適用が企業買収に与える影響

井上 謙仁(大阪市立大学)

(2) Why do Japanese Firms Voluntarily Adopt IFRS?

奥村 雅史(早稲田大学)

亀岡 恵理子(文教大学)

閻 肅(早稲田大学大学院)

司会者：岩崎 勇(九州大学)

(3) 中国版 IFRSs の導入と会計情報の質

蔣 飛鴻(実践女子大学)

(4) IFRS の導入会社ののれんの実態分析とその課題

大倉 雄次郎(関西大学名誉教授)

第7会場 (3号館 3階 3-306)

司会者：長谷川 恵一(早稲田大学)

(1) 顧客接点のマネジメントに対する管理会計の役割

君島 美葵子(横浜国立大学)

(2) ライフサイクルコストिंगの新たな展開 — 運用コストと支援コストを中心として —

岡野 憲治(松山大学名誉教授)

司会者：清水 信匡(早稲田大学)

(3) 工程管理と連動した工事实行予算管理実践に関する研究

菅本 栄造(青山学院大学)

(4) 企業の総合的業績測定を目的とする機能基準原価計算・機能基準予算管理について

田中 雅康(東京理科大学名誉教授)

中畠 道靖(関西大学)

第8会場 (3号館 3階 3-307)

司会者：向山 敦夫(大阪市立大学)

(2) 那須疏水の水利施設の資本維持と地域の持続可能性 — メソ会計の視点から —

小口 好昭(中央大学名誉教授)

司会者：石川 恵子(日本大学)

(3) 内部管理のための事業別財務諸表の活用可能性 — 愛知県財政課へのインタビュー調査を中心に —

吉本 理沙(愛知大学)

第9会場(院生セッション) (3号館 3階 3-308)

司会者：上野 清貴(中央大学)

(2) スtock情報に基づく会計利益の測定に関する研究

長濱 照美(広島大学大学院)

(3) 米国における企業結合会計基準の設定過程 ―政治的な影響力を中心として―

松本 佳子(専修大学大学院)

(4) 親会社持分変動の会計処理の検討

木村 太一(慶應義塾大学大学院)

第10会場(3号館 4階 3-405)

司会者：星野 一郎(広島大学)

(1) Social Dilemma Study in Accounting : A Textual Analysis Approach

廣瀬 喜貴(大阪市立大学)

(2) 不正会計と取締役の責任

安達 巧(県立広島大学)

司会者：上總 康行(京都大学名誉教授)

(3) コーポレート・ガバナンスの実効可能性

―「カルテル規制違反とコンプライアンス」を対象領域とした検証―

長田 美悠子(中央学院大学)

(4) なぜガバナンスをコントロールしないのか

―取締役会と管理会計を結びつけるもの―

大下 丈平(九州大学)

第11会場(3号館 4階 3-406)

司会者：照屋 行雄(神奈川大学)

(1) 貸借対照表貸方を区分する第三の目的

―株式の通貨化とストラクチャリングが区分にもたらす影響―

藻利 衣恵(高崎経済大学)

(2) 権利確定前ストック・オプションの会計

―実務対応報告第36号「従業員等に対して権利確定条件付有償新株予約権を付与する取引に関する取扱い」を踏まえ―

山下 克之(追手門学院大学)

司会者：大石 桂一(九州大学)

(3) アメリカの会計事情とその論争点 ―アメリカ会計基準をめぐる環境変化―

山田 純平(明治学院大学)

(4) 米国の慣習法における GAAP/SAS のための公衆意見集約

竹森 一正(中部大学名誉教授)

第12会場(英語会場) (3号館 4階 3-408)

司会者：榎本 正博(神戸大学)

(1) A Meta-Analysis of Determinants on Management Forecast Error

張 曉白(名古屋大学大学院)

(2) An Analysis of the Features Predicting Bankruptcy of Newly Formed Japanese Small and Medium-Sized Firms Using Machine Learning Techniques

ジョ コウ(名古屋大学大学院)

司会者：向 伊知郎(愛知学院大学)

(3) Corporate Level Determinants of Integrated Reporting : Evidence from Japan

AKHTER Taslima(関西学院大学大学院)

(4) Do in Rome as Roman's? The Effect of CEO's Overseas Background on Financial Reporting Quality

顧 俊堅(筑波大学)

統一論題討論 13:00～14:45

統一論題テーマ

『21世紀における会計理論の再構築』

第1会場(3号館 地下1階 3-B104)

「日本からの情報発信を目指して」

座 長：大日方 隆(東京大学)

討論者：澤邊 紀生(京都大学)

八重倉 孝(早稲田大学)

鈴木 一水(神戸大学)

第2会場(3号館 地下1階 3-B103)

「歴史的パースペクティブの復権」

座 長：齋藤 真哉(横浜国立大学)

討論者：杉本 徳栄(関西学院大学)

高橋 賢(横浜国立大学)

松本 祥尚(関西大学)

第3会場 (3号館 3階 3-305)

「AI時代における会計」

座 長：松本 敏史 (早稲田大学)

討論者：矢口 龍一 (新日本監査法人)

首藤 昭信 (東京大学)

村上 敏也 (金沢工業大学)

第4会場 (3号館 4階 3-405)

「日本における中小企業会計」

座 長：佐藤 信彦 (熊本学園大学)

討論者：清水 泰洋 (神戸大学)

津村 怜花 (尾道市立大学)

ガルシア クレマンズ (学習院大学)

望月 信幸 (熊本県立大学)

大森 明 (横浜国立大学)

坂口 順也 (名古屋大学)

ASBJ セッション 15:00～16:30

(3号館 地下1階 3-B104)

「ASBJの活動：収益認識、仮想通貨を中心に」

小賀坂 敦 (ASBJ 副委員長)

川西 安喜 (ASBJ 常勤委員)

特別委員会報告

第1日目 9月4日(火)

特別委員会報告1 14:50～15:30

特別委員会報告2 15:40～16:20

(報告時間 各30分 質疑応答 各10分)

会 場

パシフィコ横浜

アネックスホール F201-204

日本会計研究学会 第77回大会

特別委員会「知の活用・探索と管理会計に関する研究」中間報告・要旨

委員：新井康平（群馬大学） 大浦啓輔（立命館大学） 河合隆治（同志社大学）
窪田祐一（南山大学） 坂口順也（名古屋大学） 佐久間智広（松山大学）
佐々木郁子（東北学院大学） 尻無濱芳崇（山形大学） 妹尾剛好（和歌山大学）
田口聡志（同志社大学） 福島一矩（中央大学） 三矢裕（神戸大学・委員長）

研究目的

管理会計は、過去のパフォーマンスを測定し、それを参照しながら未来の目標値を設定する。過去との連続性がある知について、それを「活用」しながら改善を促進する際には、管理会計は強力なツールとなっている。その一方で、今日の企業に強く求められるのは、新たな知の「探索」を通じ、過去と非連続なイノベーションを起こすことである。過去の情報を前提とする従来の管理会計手法はイノベーションを阻害するという見解もある。

その一方で、インタラクティブ・コントロールに関する研究群などにおいて、管理会計がイノベーションに対してポジティブな影響を与える可能性も示唆されてきた。また、2017年の米国会計学会の管理会計セクションの総会では、創造性を主題とした **Plenary Session** が設けられた。これらが象徴するように、管理会計が知の活用のみならず、知の探索をもいかに支援できるかは、今日、もっとも重要な研究テーマである。たとえば、知的資産の測定方法の開発、結果コントロールと測定を伴わない文化コントロールのパッケージ化、組織間の協業やオープンイノベーションにおける管理会計の役割、知的活動を行うホワイトカラーの評価、インセンティブと創造性の関係など、従来の管理会計の限界を超えるような研究も始まっている。

現在、管理会計研究は転換点を迎えているのではないだろうか。わが国が世界の研究潮流に遅れを取ることは許されない。本特別委員会においては、ケース研究、アーカイバル研究、サーベイ研究、実験研究などのエンピリカルな研究手法を組み合わせながら、知の活用・探

会場案内図

アクセスマップ

広域地図



パシフィコ横浜へのアクセス

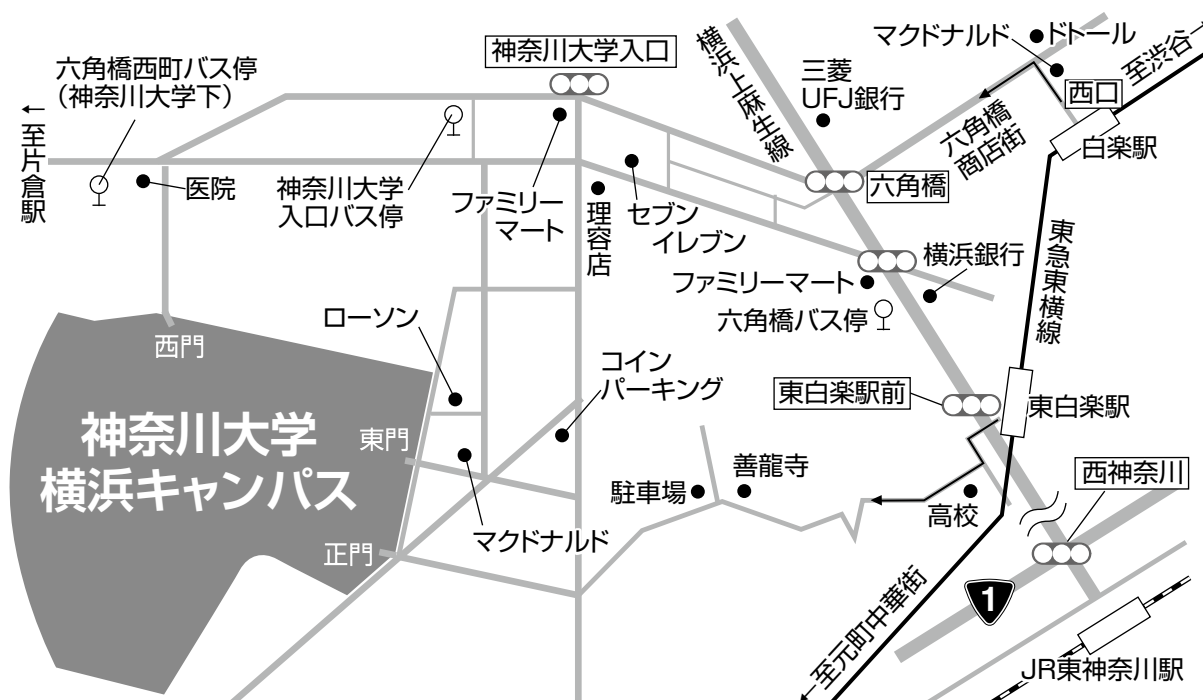
- 東急東横線・副都心線直通 みなとみらい駅より徒歩5分。
(クィーンズスクエア連絡口をご利用ください)
- JR 桜木町駅より 徒歩 12分、バスで 11分。

神奈川大学へのアクセス

- 東急東横線「白楽駅」または「東白楽駅」下車、徒歩 13分
- タクシーでのアクセス
横浜駅西口のタクシー乗り場から横浜キャンパス正門まで
(約 10～15分、千円前後)

※駐車場がありませんので、公共交通機関またはタクシー等でご来場ください。

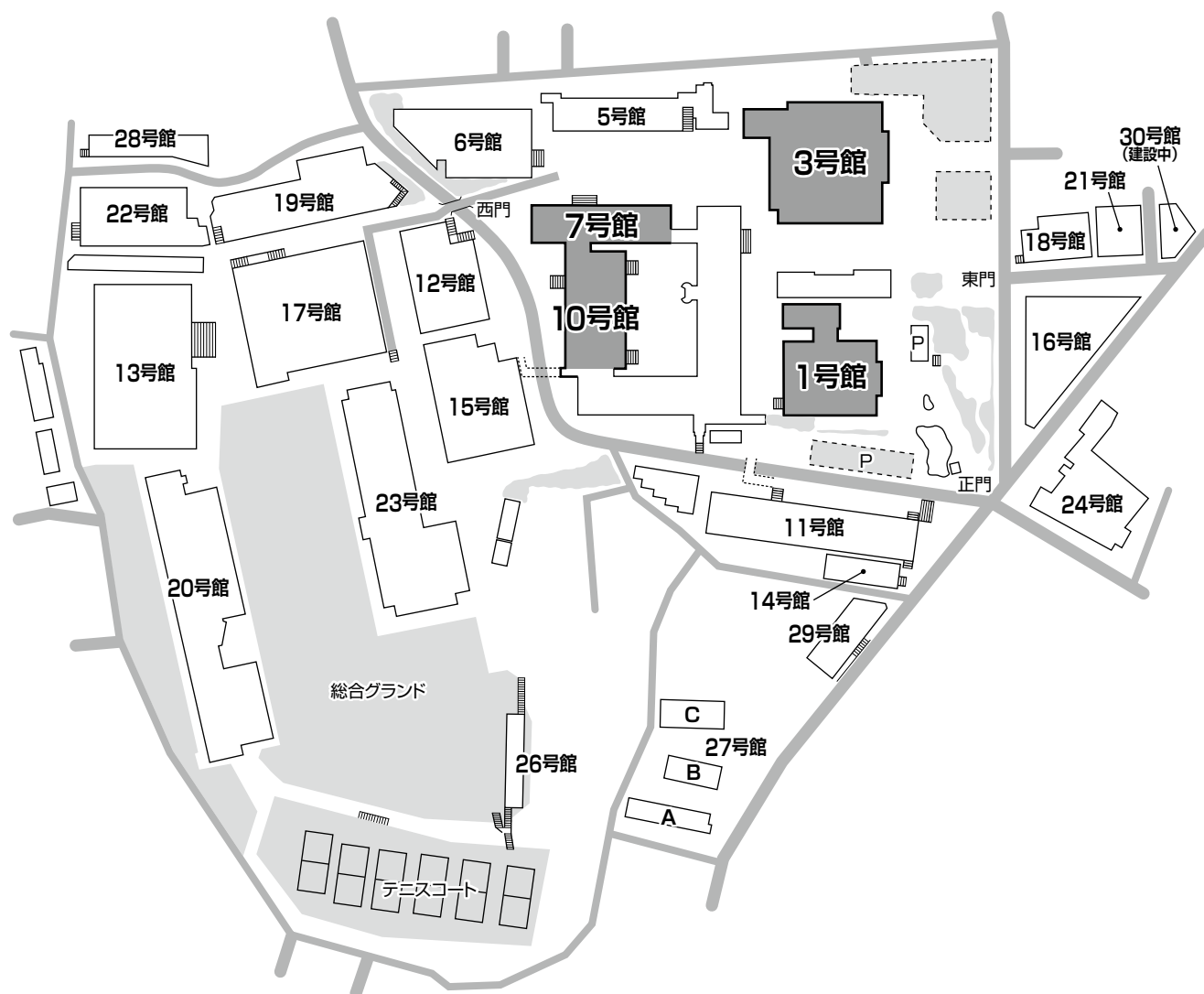
神奈川大学 横浜キャンパス



- 東急東横線「白楽駅」または「東白楽駅」下車 徒歩 13分
- 横浜駅西口バスターミナルから横浜市営バスを利用の場合（東神奈川駅西口経由）
 - 【1番乗場36系統】 菅田町／緑車庫前行 ー 約14分
ー 「神奈川大学入口」または「六角橋西町」下車
 - 【1番乗場82系統】 八反橋／神大寺入口行 ー 約14分
ー 「神奈川大学入口」または「六角橋西町」下車
- 片倉町駅前（横浜市営地下鉄）より横浜市営バスを利用の場合
 - 【246番乗場36・82系統】 東神奈川駅西口／横浜駅西口行
ー 約6分 ー 「六角橋西町」または「神奈川大学入口」下車
- タクシーでのアクセス
横浜駅西口のタクシー乗り場から横浜キャンパス正門まで（約10～15分、千円前後）

※ 駐車場がありませんので、公共交通機関またはタクシー等でご来場ください。

キャンパスマップ



日本会計研究学会第77回大会準備委員会

委員長	岡村	勝義				
委員	大田	博樹	小川	淳平	奥山	茂
	関口	博正	照屋	行雄	戸田	龍介
	西川	登	平井	裕久	真鍋	明裕



KU 神奈川大学

**日本会計研究学会
第77回大会準備委員会**

〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1
神奈川大学横浜キャンパス
神奈川大学経済学部 岡村勝義研究室 内
E-mail: jaa2018-77@kanagawa-u.ac.jp
<http://jaa2018.net/>